

## ふるさとの壮大な歴史にふれる

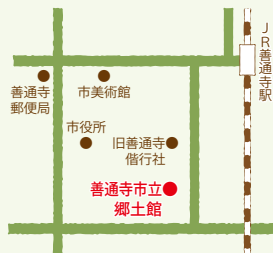
ふるさとの貴重な文化遺産を展示している「善通寺市立郷土館」は、1962年に市庁舎敷地内に開館しました。その後、旧善通寺偕行社などへの数回の移転を経て、2023年に善通寺市総合会館「ZENキューブ」の2階にリニューアルオープンしました。

「考古展示室」は、旧石器時代から近代までの地域の歴史が、考古資料約600点や写真によって、わかりやすく学ぶことができます。例えば、仙遊遺跡から出土した弥生時代の人の顔が描かれた石棺や、陣山遺跡から出土した銅剣、金銅製冠帽こんどうせいかんぼうをはじめとする王墓山古

墳から出土した多種多様な副葬品の数々、史跡有岡古墳群の積石塚古墳や線刻壁画などは貴重で珍しく、古代から讃岐の重要拠点であった善通寺市の壮大な歴史に触れることができます。

「民俗展示室」では、江戸時代以降、明治、大正、昭和初期と、まちが大きく発展したころに使用された民俗資料約200点を展示。米作りや農家の副業など日常生活用具から、映画館や師団関連用品など、このまちの特徴的な資料も展示しています。

まちのルーツが見えてくる郷土館。ぜひとも立ち寄ってみましょう。



- 文京町二丁目1-4
- 旧善通寺偕行社から徒歩約1分
- 見学時間 / 10:00～16:00
- 休館日 / 月曜・年末年始
- 入館料 / 無料
- 問い合わせ / ☎ 0877-63-6329



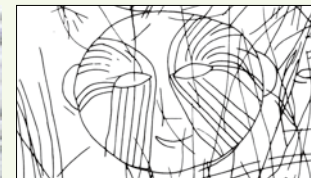
善通寺市立郷土館エントランス



考古展示室



王墓山古墳出土金銅製冠帽



仙遊遺跡から出土した人の顔が描かれた石棺



民俗展示室



陣山遺跡から出土した銅剣